

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
教育原論 Principles of Education		児童教育学科 初等教育学専攻	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	必修	隅野 努	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教育に関する社会的、制度的、経営的事項

〇コアカリキュラム：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

全体目標：教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。

(1) 教育の基本的概念
一般目標：教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解する。
到達目標：1) 教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。
2) 子供・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。

(2) 教育に関する歴史
一般目標：教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。
到達目標：1) 家族と社会による教育の歴史を理解している。
2) 近代教育制度の成立と展開を理解している。
3) 現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。

(3) 教育に関する思想
一般目標：教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。
到達目標：1) 家庭や子供に関わる教育の思想を理解している。
2) 学校や学習に関わる教育の思想を理解している。
3) 代表的な教育家の思想を理解している。

【一般目標及び到達目標】	目標対応
(1) 教育について、哲学的・歴史的にとらえ基本的な内容を理解している。 1) 教育原論とは何かを説明できる。	(1)-1)、2)
2) カントの言葉をもとに、教育とは何かについて説明できる。	(3)-3)
3) 現代の学校制度ができた理由を、歴史的背景を踏まえて説明できる。	(3)-2)
4) 教育方法の先人たちについて、その特色の概要を説明できる。	(3)-3)
(2) 日本の教育について、歴史・法律・制度・指導法・評価から多角的にとらえ理解している。 1) 古代から現代にいたる日本の教育の歴史を、時代ごとの特色を踏まえて説明できる。	(2)-1)、(3)-1)
2) 日本の教育の基本的なスタンスについて、学校制度や教育基本法の条文から説明できる。	(2)-2)
3) 学校経営や学級経営の重要性を、具体的な事例をもとに説明できる。	(3)-2)
4) 生徒指導や学習指導について、その概要や考え方の基本を説明できる。	(3)-1)、2)
5) 教育評価について、それぞれの考え方の違いや評価方法について説明できる。	(1)-1)、2)
6) 社会教育や家庭教育について、その概要や考え方の基本を説明できる。	(2)-1)、(3)-1)、2)
(3) 学校を取り巻く今日的な教育課題について、自分の考えや意見を述べることができる。 1) 日本とドイツの学校制度を比較し、自分の考えを述べることができる。	(1)-2)
2) 学級担任として、よりよい学級づくりへの意見を述べることができる。	(1)-2)、(3)-2)
3) 絶対評価と相対評価を比較し、自分の考えを述べることができる。	(2)-3)
4) 保護者として、よりよい家庭教育のあり方について自分の意見を述べることができる。	(1)-2)、(3)-1)、2)

回数	教育原論 授業内容 【隅野 努】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応
1	オリエンテーションで、これから学んでいく方向性を理解する。「教育原論とは何か」が明確になる。	(1)-1)	(1)-1)、2)
2	カントや孔子の言葉をもとに「教育とは何か」を考える。	(1)-2)	(3)-3)
3	古代から現代までの教育の歴史を「学校はどのようにしてできたのか」の視点で探ることで理解する。	(1)-3)	(3)-2)
4	ソクラテスからデューイまで「教育の先人たち」の概要を学ぶことで、教育方法の歴史を理解する。	(1)-4)	(3)-3)
5	古代から現代の教育基本法に至る「日本の教育」の歴史の概要を学ぶことで、日本の教育の目的を理解する。	(2)-1)	(2)-1) (3)-1)
6	日本の学校教育の法的根拠を、演習問題を解くことで理解する。	(2)-2)	(2)-2)
7	学校制度のあり方について、日本とドイツの違いから考察する。文部科学省と教育委員会、学校の関係を理解する。	(2)-2)、(3)-1)	(1)-2) (2)-2)
8	学校の責任者としての校長の視点を通して、学校経営の仕組みや学校運営のあり方について理解する。	(2)-3)	(3)-2)
9	学級担任になったつもりで「安心安全でいじめのない学級づくり」について、グループ学習で考えをまとめる。	(2)-3)、(3)-2)	(1)-2) (3)-2)
10	グループ学習での成果を発表し合うことで、担任としてもつべき「学級経営の基本的な構えと手だて」について理解する。	(2)-3)、(3)-2)	(1)-2) (3)-2)
11	生徒指導の原理と方法について生徒指導提要をもとに学び、「生徒指導とは何か」について理解する。	(2)-4)	(3)-1)、2)
12	学習指導の原理と方法について具体的な授業例から学び、「授業とは何か」について理解する。	(2)-4)	(3)-1)、2)
13	教育評価にまつわる基礎知識を学び、絶対評価と相対評価の考え方の違いやPDCAの意味について理解する。	(2)-5)、(3)-3)	(1)-1)、2) (2)-3)
14	教育の原点としての家庭教育のあり方について、具体的な事例をもとに考える。	(2)-6)、(3)-4)	(1)-2)、(2)-1) (3)-1)、2)
15	社会教育についての考え方の変遷について学び、生涯学習時代を生き抜く知恵について考える。	(2)-6)	(2)-1) (3)-1)、2)
定期試験	実施する		
成績評価方法	授業への取り組み（関心・意欲・態度）50% 定期試験（知識・理解、思考力・判断力・表現力）50%		
テキストおよび参考文献	テキスト：『教育原論』山口短期大学 参考文献：『小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）』東洋館出版		
メッセージなど	教育の根本的な理論について、その概要を学びます。 おもしろきこともなき世をおもしろく……の精神で工夫して学びましょう。		

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) 教育原論とは何かの説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度) 定期試験 (知識・理解、思考力・判断力・表現力)	5%
(1)-2) カントの言葉をもとに、教育とは何かについて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(1)-3) 現代の学校制度ができた理由を、歴史的背景を踏まえて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(1)-4) 教育方法の先人たちについて、その特色の概要を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(2)-1) 古代から現代にいたる日本の教育の歴史を、時代ごとの特色を踏まえて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(2)-2) 日本の教育の基本的なスタンスについて、学校制度や教育基本法の条文から説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(2)-3) 学校経営や学級経営の重要性を、具体的な事例をもとに説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(2)-4) 生徒指導や学習指導について、その概要や考え方の基本を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(2)-5) 教育評価について、それぞれの考え方の違いや評価方法について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(2)-6) 社会教育や家庭教育について、その概要や考え方の基本を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(3)-1) 日本とドイツの学校制度を比較し、自分の考えを述べるができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(3)-2) 学級担任として、よりよい学級づくりへの意見を述べることができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度) 定期試験 (知識・理解、思考力・判断力・表現力)	5%
(3)-3) 絶対評価と相対評価を比較し、自分の考えを述べることができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(3)-4) 保護者として、よりよい家庭教育のあり方について自分の考えを述べることができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%